



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 三洋工業株式会社  
コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 菊地 政義

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 園田 崇之

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5611-3451

2021年6月28日

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	25,691	△10.7	1,316	△17.2	1,540	△12.6	1,027	△13.1
2020年3月期	28,766	2.0	1,590	80.0	1,763	71.3	1,182	44.9

(注) 包括利益 2021年3月期 1,273百万円 (20.3%) 2020年3月期 1,059百万円 (42.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	302.88	—	6.4	6.0	5.1
2020年3月期	348.63	—	7.8	6.9	5.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	25,233	16,533	65.5	4,874.63
2020年3月期	25,864	15,480	59.9	4,564.07

(参考) 自己資本 2021年3月期 16,533百万円 2020年3月期 15,480百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,467	△231	△243	5,746
2020年3月期	2,391	△177	△495	4,754

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00	237	20.1	1.6
2021年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00	237	23.1	1.5
2022年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00		29.7	

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	27,000	5.1	950	△27.8	1,100	△28.6	800	△22.1	235.87

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	3,520,000 株	2020年3月期	3,520,000 株
2021年3月期	128,275 株	2020年3月期	128,246 株
2021年3月期	3,391,730 株	2020年3月期	3,391,807 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,427	△9.4	960	△4.8	1,577	5.3	1,130	6.9
2020年3月期	22,550	1.0	1,009	105.3	1,497	42.8	1,057	14.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	333.20	—
2020年3月期	311.76	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2021年3月期	21,617	64.8	14,006	59.1	—	—	4,129.72	
2020年3月期	22,014	—	13,012	—	—	—	3,836.66	

(参考) 自己資本 2021年3月期 14,006百万円 2020年3月期 13,012百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年4月に政府より緊急事態宣言が発出され、国内景気は停滞を余儀なくされました。宣言解除後は、感染症拡大防止と経済活動の両立を図る動きが広がり一部に改善の兆しが見られましたが、第3波の感染再拡大を受け、2021年1月には二度目の緊急事態宣言が発出される事態となりました。しかしながら、同宣言解除後も新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは立っておらず、景気の先行きは依然として予断を許さない不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する建築業界におきましては、持家や貸家、分譲住宅の減少に伴う新設住宅着工戸数の落ち込みに加え、非住宅関連においてもコロナ禍による経済活動の自粛を背景に工場や事務所、店舗の着工床面積が減少するなど、建築需要は総じて厳しい状況で推移いたしました。

こうした経営環境の中で当社グループは、社員の健康と安全を確保するため、3密の防止やマスクの着用、手洗い、手指のアルコール消毒、検温、ソーシャルディスタンスの確保といったコロナ感染防止策の徹底を図るほか、時差出勤やサテライトオフィスでの勤務及び一部在宅勤務といった柔軟な労働環境の実現に努めてまいりました。また、コロナ禍によって建築需要が落ち込む中、当社グループは、2年目を迎えた中期3ヵ年経営計画「SANYO VISION 73」の達成を目指し、“持続的な成長に向けた NEXT STAGE への挑戦～人へつなぎ、未来へつなぐ～”をスローガンに、基本経営戦略を着実に実行するとともに、コストダウンによる利益率の改善や販管費等の削減に全力で取り組んでまいりました。

新製品の開発状況といたしましては、意匠性と施工性に優れた再生木材製デッキシステム「サニーデッキSW-Wide」、同じく再生木材を用いた特定箇所向け廉価タイプの「サニーデッキMK」を同時発売し、サニーデッキシリーズの充実化に当たってまいりました。また、倉庫や工場、大型商業施設向けの高さ5m超対応の鋼製壁下地「High SICS」及びアルミと合法木材を使用したハイブリッドフェンス「セーフフェンスWNタイプ」等を順次開発し、市場投入いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における経営成績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、全体の売上高は25,691百万円（前期比10.7%減）となりました。また、利益面におきましては、利益率の改善と販管費の削減に注力してまいりましたが、売上高の低下に伴う売上総利益の減少分を補えず営業利益は1,316百万円（前期比17.2%減）、経常利益においては1,540百万円（前期比12.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,027百万円（前期比13.1%減）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

#### ① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、地震対策用天井が底堅い伸びを示しましたが、新設住宅着工戸数の減少に伴い戸建住宅用製品が落ち込んだほか、商業施設用の一般製品についても受注量が低迷したことなどから、軽量壁天井下地全体の売上高は減少を余儀なくされました。

また、床システムにつきましては、再生木材を使用したデッキシステムやスチール製OAフロアなど環境や安全に配慮した商品が伸長しましたが、主力製品である学校体育館などスポーツ施設用の鋼製床下地材製品や集合住宅用の遮音二重床製品が伸び悩んだことなどから、床システム全体の売上高は微減となりました。

アルミ建材につきましては、主力製品であるアルミ笠木やエキスパンション・ジョイントカバーをはじめ、手摺や外装パネル、スパンドレル等の受注量が低調であったことなどから、アルミ建材全体の売上高は減少となりました。

この結果、売上高は20,427百万円（前期比9.4%減）、セグメント利益は960百万円（前期比4.8%減）となりました。

## ② システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、設計指定活動を中心に鋼製床下地材製品や床関連製品等の販売強化に努めてまいりましたが、コロナ禍の影響によって工事の遅延や見直し等があったことなどから、システム子会社全体の売上高は5,979百万円（前期比15.1%減）、セグメント利益は117百万円（前期比59.4%減）となりました。

## ③ その他

その他につきましては、売上高778百万円（前期比12.7%減）、セグメント利益31百万円（前期比65.3%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、主に受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ631百万円減少し、25,233百万円となりました。

当連結会計年度末の負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,684百万円減少し、8,700百万円となりました。

当連結会計年度末の純資産は、主に親会社株主に帰属する当期純利益が1,027百万円となったことにより、前連結会計年度末に比べ1,053百万円増加し、純資産合計は16,533百万円となりました。この結果、自己資本比率は65.5%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、5,746百万円となり、前連結会計年度末に比べて992百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,467百万円（前連結会計年度は2,391百万円の獲得）となりました。

主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,539百万円、減価償却費549百万円、法人税等の支払額660百万円などによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は231百万円（前連結会計年度は177百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出218百万円、無形固定資産の取得による支出7百万円などによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は243百万円（前連結会計年度は495百万円の使用）となりました。これは、リース債務の返済による支出16百万円、配当金の支払額217百万円などによるものであります。

#### (4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及が徐々に進んでいるものの、収束の兆しが見えないことから、企業業績の低下による雇用や所得環境の悪化が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

2021年度の当社グループを取り巻く外部環境につきましては、前年度に引き続き建設投資が低調に推移するものと捉えております。長期化する新型コロナウイルス感染症の影響や雇用情勢の悪化等を背景に民間住宅投資が減少するほか、民間非住宅投資においても一部に回復の動きが見られますが、全体的には減少傾向が続くものと予測しております。

当社グループではこうした厳しい経営環境の中で、社員の健康と安定的な収益確保の両立を図るため、感染防止策の徹底を継続させるとともに、最終年度を迎えた中期3ヵ年経営計画「SANYO VISION 73」の達成を通じて、持続的な成長を目指し邁進してまいります。

以上の状況を踏まえ、2022年3月期の連結業績見通しにつきましては、当初設定した計画を見直し、現時点で入手可能な情報や予測等を総合的に勘案し、売上高27,000百万円（前期比5.1%増）、営業利益950百万円（前期比27.8%減）、経常利益1,100百万円（前期比28.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益800百万円（前期比22.1%減）を見込んでおります。なお、新型コロナウイルス感染症の今後の動向等によって業績が大きく変動する可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

#### [業績予想に関する注意事項]

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社グループとしてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,804	5,796
受取手形及び売掛金	8,463	7,192
電子記録債権	963	972
商品及び製品	2,298	1,864
仕掛品	145	126
原材料及び貯蔵品	594	614
その他	63	73
貸倒引当金	△52	△54
流動資産合計	17,279	16,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,103	7,142
減価償却累計額	△4,288	△4,441
建物及び構築物（純額）	2,814	2,701
機械装置及び運搬具	5,117	5,131
減価償却累計額	△4,554	△4,626
機械装置及び運搬具（純額）	563	505
土地	2,876	2,876
建設仮勘定	9	15
その他	1,622	1,701
減価償却累計額	△1,365	△1,441
その他（純額）	257	260
有形固定資産合計	6,522	6,358
無形固定資産		
ソフトウェア	224	82
その他	25	30
無形固定資産合計	250	112
投資その他の資産		
投資有価証券	478	617
繰延税金資産	108	12
退職給付に係る資産	36	332
賃貸不動産	1,000	975
その他	204	252
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	1,811	2,173
固定資産合計	8,584	8,645
資産合計	25,864	25,233

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,784	2,880
電子記録債務	-	2,700
短期借入金	874	867
未払金	361	269
未払消費税等	339	295
未払法人税等	474	259
賞与引当金	430	360
役員賞与引当金	25	17
その他	645	508
流動負債合計	9,936	8,159
固定負債		
長期借入金	2	-
繰延税金負債	3	75
退職給付に係る負債	40	41
その他	400	423
固定負債合計	447	540
負債合計	10,384	8,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	12,739	13,546
自己株式	△291	△291
株主資本合計	15,376	16,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	251
退職給付に係る調整累計額	△50	98
その他の包括利益累計額合計	103	349
純資産合計	15,480	16,533
負債純資産合計	25,864	25,233



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	28,766	25,691
売上原価	20,884	18,616
売上総利益	7,881	7,074
販売費及び一般管理費	6,291	5,758
営業利益	1,590	1,316
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	20
受取賃貸料	172	210
売電収入	39	35
作業くず売却益	20	16
その他	24	31
営業外収益合計	276	314
営業外費用		
支払利息	3	2
不動産賃貸費用	74	67
売電費用	23	20
その他	0	0
営業外費用合計	103	90
経常利益	1,763	1,540
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
受取保険金	32	-
特別利益合計	32	0
特別損失		
固定資産除却損	11	0
投資有価証券評価損	15	-
災害による損失	21	-
特別損失合計	48	0
税金等調整前当期純利益	1,748	1,539
法人税、住民税及び事業税	507	446
法人税等調整額	57	66
法人税等合計	565	512
当期純利益	1,182	1,027
親会社株主に帰属する当期純利益	1,182	1,027

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,182	1,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	97
退職給付に係る調整額	△76	148
その他の包括利益合計	△123	246
包括利益	1,059	1,273
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,059	1,273
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,760	1,168	11,828	△291	14,465
当期変動額					
剰余金の配当			△271		△271
親会社株主に帰属する当期純利益			1,182		1,182
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	911	△0	911
当期末残高	1,760	1,168	12,739	△291	15,376

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	200	26	226	14,692
当期変動額				
剰余金の配当				△271
親会社株主に帰属する当期純利益				1,182
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△46	△76	△123	△123
当期変動額合計	△46	△76	△123	787
当期末残高	153	△50	103	15,480

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,760	1,168	12,739	△291	15,376
当期変動額					
剰余金の配当			△220		△220
親会社株主に帰属する当期純利益			1,027		1,027
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	806	△0	806
当期末残高	1,760	1,168	13,546	△291	16,183

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	153	△50	103	15,480
当期変動額				
剰余金の配当				△220
親会社株主に帰属する当期純利益				1,027
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	97	148	246	246
当期変動額合計	97	148	246	1,053
当期末残高	251	98	349	16,533

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,748	1,539
減価償却費	557	549
災害による損失	21	-
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△119	△85
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	48	△69
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	△8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	1
受取利息及び受取配当金	△20	△20
受取保険金	△34	△10
支払利息	3	2
固定資産除却損	11	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	15	-
売上債権の増減額 (△は増加)	624	1,261
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△211	431
仕入債務の増減額 (△は減少)	△306	△1,202
未払消費税等の増減額 (△は減少)	247	△44
その他	71	△247
小計	2,655	2,098
利息及び配当金の受取額	20	20
利息の支払額	△3	△2
保険金の受取額	34	10
災害による損失の支払額	△4	-
法人税等の支払額	△309	△660
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,391	1,467
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△50	△50
定期預金の払戻による収入	50	50
有形固定資産の取得による支出	△202	△218
無形固定資産の取得による支出	△24	△7
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	-	0
投資不動産の取得による支出	△10	△2
その他	59	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177	△231

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,270	1,325
短期借入金の返済による支出	△2,470	△1,325
長期借入金の返済による支出	△9	△9
リース債務の返済による支出	△14	△16
配当金の支払額	△270	△217
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△495	△243
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,718	992
現金及び現金同等物の期首残高	3,035	4,754
現金及び現金同等物の期末残高	4,754	5,746

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「流動資産」の「受取手形及び売掛金」に含めておりました「電子記録債権」は、表示の明瞭性を高めるため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形及び売掛金」に表示していた9,427百万円は、「受取手形及び売掛金」8,463百万円、「電子記録債権」963百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社で構成されており、それぞれが独立した経営単位として、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。三洋工業株式会社では、建築用金物・資材の製造、販売及び施工を行っており、システム子会社4社では建築用金物・資材のうち、主に床システムの施工を行っております。

したがって、当社グループは三洋工業を中心とした会社別のセグメントから構成されており、「三洋工業」及び「システム子会社」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、「三洋工業」と「システム子会社」間の取引は売上原価に一定割合を加算した価格に、それ以外の取引については第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	三洋工業	システム 子会社	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,218	6,916	28,135	630	28,766
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,331	128	1,460	261	1,721
計	22,550	7,045	29,595	891	30,487
セグメント利益	1,009	290	1,300	90	1,390
セグメント資産	22,014	4,262	26,277	1,385	27,662
その他の項目					
減価償却費	539	7	547	10	557
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	338	7	345	2	347

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フジオカエアータイト株式会社及びスワン商事株式会社を含んでおります。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	三洋工業	システム 子会社	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,363	5,759	25,123	567	25,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,064	219	1,283	210	1,494
計	20,427	5,979	26,407	778	27,185
セグメント利益	960	117	1,078	31	1,110
セグメント資産	21,617	3,826	25,444	1,316	26,761
その他の項目					
減価償却費	536	6	542	6	549
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	216	2	218	1	220

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フジオカエアータイト株式会社及びスワン商事株式会社を含んでおります。



## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	29,595	26,407
「その他」の区分の売上高	891	778
セグメント間取引消去	△1,721	△1,494
連結財務諸表の売上高	28,766	25,691

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,300	1,078
「その他」の区分の利益	90	31
セグメント間取引消去	199	206
連結財務諸表の営業利益	1,590	1,316

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	26,277	25,444
「その他」の区分の資産	1,385	1,316
投資と資本の相殺消去	△185	△185
その他調整額(注)	△1,612	△1,341
連結財務諸表の資産	25,864	25,233

(注) その他調整額は、主にセグメント間の貸付金の消去額(前連結会計年度1,214百万円、当連結会計年度1,257百万円)であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	547	542	10	6	△0	△0	557	549
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	345	218	2	1	-	-	347	220

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	4,564.07円	4,874.63円
1株当たり当期純利益	348.63円	302.88円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,182	1,027
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,182	1,027
普通株式の期中平均株式数 (千株)	3,391	3,391

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	15,480	16,533
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)		
(うち非支配株主持分)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	15,480	16,533
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	3,391	3,391

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

役員の変動(2021年6月25日予定)

(1) 代表者の変動

代表取締役会長 菊地 政義 (現 代表取締役社長)

代表取締役社長 山岸 茂 (現 常務取締役 子会社担当)

(2) その他の役員の变动

就任予定取締役

取締役 関東支店長兼子会社担当 吉見 紀昭 (現 取締役 関東支店長)

就任予定執行役員

執行役員 名古屋支店長兼名古屋営業所長

中島 勝彦 (現 名古屋支店長兼名古屋営業所長)

執行役員 北関東支店長兼大宮営業所長

三川 裕 (現 北関東支店長兼大宮営業所長)